

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局都市・住宅整備課  
担当課長名：栗田 泰正

<b>事業名</b> ふじみどりとりい <b>富士見通鳥居線</b>	<b>事業区分</b> 街路	<b>事業主体</b> 大分県
<b>起終点</b> 自：大分県別府市大字南立石 至：大分県別府市大字南立石	<b>延長</b> 1.3 km	
<b>事業概要</b> 都市計画道路富士見通鳥居線は、別府市中心市街地と大分自動車道別府インターチェンジを結ぶ幹線道路であるほか、別府市の環状道路の一部を構成する延長1.3 kmの4車線道路である。		
H6年度事業化	S27年度都市計画決定 （H7年度変更）	H6年度用地着手
H—年度工事着手		H—年度工事着手
<b>全体事業費</b> 90億円		<b>事業進捗率</b> 55%
<b>計画交通量</b> 21,900台/日		<b>供用済延長</b> 0 km
<b>費用便益分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 2.9 (残事業) ---	<b>総費用</b> ：(残事業)/(事業全体) ---/93億円 <b>事業費</b> ：---/91.2億円 <b>維持管理費</b> ：---/1.3億円
<b>総便益</b> ：(残事業)/(事業全体) ---/270億円 <b>走行時間短縮便益</b> ：---/250.8億円 <b>走行費用減少便益</b> ：---/15.6億円 <b>交通事故減少便益</b> ：---/3.7億円		<b>基準年</b> 平成15年
<b>事業の効果等</b> ・都市の再生（DID地区内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する） <span style="float: right;">外7項目に該当</span>		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 本路線の整備により、ICから市街地へのアクセスが向上し、観光・交流促進に寄与するため、別府市長から県議会に対し要望書が毎年（今年度はH15.6.12）提出されている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 複合文化施設（ビーコンプラザ、H7～）や総合体育館（べっぷアリーナ、H15～）の開館、西日本一の観光温泉宿泊施設の再建等により、交流機会が増大する傾向にある		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 用地取得率は78%（H15末）であるが、事業規模が大きい（事業認可期間：H6～H17：12年間）ため完成に至っていない。大規模構造物として橋梁が2橋（L=165m, L=195m）残っている		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 一部地権者との交渉が難航しているが、大多数の住民は早期完成を望んでいる。今後も用地取得に努め、早期供用開始を目指す。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> コスト縮減・景観等から総合的に判断して、橋梁上部工形式にポストテンション方式PC連続中空床版橋を採用		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる		
<b>事業概要図</b>		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。